

## 1 Track03：『糸口の演技が上手くなりたいの』

※のE：手口音

右耳・通常（マイクに顔は向けず横並び）

( hmr\_0132) セむる「 まあ……落わ」むなあ……。お嬢わやん、一〇禁ゲーの  
声優に向こひなじのかわ……」

右耳・近め

( hmr\_0133) セむる「 ……お、「おえねー、イキやう」ないわやつだべ。」  
( hmr\_0134) セむる「 お嬢わやんも隨分、手口キが上手くなつたぢしう。  
でも、バージンなのに手であるのはせつかり上手く  
なつてゐるせむらなさんだろ……」

( hmr\_0135) セむる「 ……前」本氣でしれあげたら、  
30秒ぐらうで丑しねやつてたよね」

( hmr\_0136) セむる「 なんかおの壁、か」謝つてたけむ……男の人のて、  
すぐイヤうややかのを黙つて」とだと黙つてゐる。」

( hmr\_0137) セむる「 たまにゲーのHシチシーハドキ、  
主人公が謳ひてゐる壁あゆか。」

右耳・騒ぎ

( hmr\_0138) セむる「 ……お嬢わやん、叫んで思われたくなづへ。」

( hmr\_0139) セむる「 ふふひ、図星だいだのかな……専門、お嬢わやんの手を  
止めにあつてじつはしたの？」

( hmr\_0140) セむる「 ……わね、我慢なつてしなくてこらへ。」  
お嬢わやんの我が儘で触らせてやむつてゐるだ。」

( hmr\_0141) セむる「 やいませ、和木の手口キのハーバがある壁せ、  
」ハヤつて触つてゐる、感情移入しやすじんだよね」

右耳・通常（マイクに顔は向けず横並び）

( hmr\_0142) セむる「 さて、次は」のやつて……」

右耳・騒ぎ

( hmr\_0143) セmuる「 ……叫べ、あだしの手口丑しわやしなよ。  
おの手こしてても、うつより、気持わふらんどしよ。」  
れいわと詰めた方が、身のためよ……。」

右耳・囁き（前ページからの続き）

( hm\_0144) せむる「『所詮、男なんて』んなもん……あの子とは幼なじみで相思相愛？ 笑つちやうわね。もう、あたしから離れられないカラダになつてゐるクセに……」

右耳・通常（マイクに顔は向けず横並び・囁き距離から顔を動かしながら）

( hm\_0145) せむる「……ど、「のあとなんだよね。抵抗しないとする主人公に、その……お口ど……」

右耳・通常（マイクに顔を向ける）

( hm\_0146) せむる「あ、フェラチオってわかるよね？ 実際に、女の子にしてもらひだ！」といつておねえ。

右耳・通常（マイクに顔は向けず横並び・顔を動かしながら）

( hm\_0147) せむる「今回、お姉ちゃんが担当するキャラクター、エッチのテクニックも「」こういう設定なんだけど、正直、上手く演じられる自信ないんだよね……」

( hm\_0148) せむる「……実はお姉ちゃん、お口の演技が苦手で……。ゲームの感想でも、コーナーさんに『紅衣ほむるのフェラは、ソバを噛つてる音にしか聴こえん』とか書かれてたの……」

( hm\_0149) せむる「一応、上手くなりたいと思つて練習はしてゐるだけ……実際にしたこともないし……。他の声優さんたちの見よう見まねで、ただ水っぽい音を大きく鳴らすだけになつたやつで……」

右耳・通常（マイクに顔を向ける）

( hm\_0150) せむる「……試しに聞いてみてくれる？ ……あ、恥ずかしいから、やつてみると今は見ないでね」

( hm\_0151) せむる「ん……わゆつ、あすすすすすつ……あゆゆゆつ、あゆゆゆつ、ずるるるるるつ……ん、はあつ……」「んな感じ……。やつせり、お口でされてる感じしない……もねー。」

正面・通常（移動しながら）

( hm\_0152) せむる「い、いじよ。無理に褒めてくれなくて……自分が下手なのは、よくわかってるし……」

( hm\_0153) せむる「……でも……でもねー、上手くなりたいつてついつ気持ちちは本当なの。」の仕事、大好きだから……お姉ちゃんの声をオカズにしてもいいの、すいぐ嬉しいし……」

正面・近め（近付きながら）

( hmr\_0154) せむる「 ..... やれで、相談なんだだけや。 その.....一度でいいから.....話してお口で..... 練習させてくれない？」

( hmr\_0155) せむる「 お口やしたから、どんな音が鳴るのか.....知りたくないかようどおねんかくも」 へなに大きくなつてゐる」

( hmr\_0156) せむる「 ふふひ、「おでけ」ねべ。急に」 へなにと頼まれても、驚こわやうね。困つてゐる顔、かわいいくだもんなあ。するじんだから.....かゆつ .....」

右耳・騒ぐ（正面・近めから移動しながら）

( hmr\_0157) せむる「 .....いいよ。その気になるまで、おちんかんイジメやうから..... お姉ちゃんに、もひと気持ちいこい」としてせつこうひ、考え方やうようになれるまで.....」

( hmr\_0158) せむる「 .....お姉ちゃん、ゲームの仕事に影響をわれず、まかなかな、まかか」 みんなセリフを弟に聞かねやうなんや.....」

( hmr\_0159) せむる「 でも、男の人が面白じね..... おちんかんおつきいて褒めてあげるよ、本当に嬉しそうな顔をして.....」

( hmr\_0160) せむる「 だからゲームでもそういうセリフが多いのかな。こうやって、おちんかん触らせてもらつてると、本当に色々なことに気づけるの。 .....」

せむる「 .....せこ、勉強させても、ひりてるよ。」

( hmr\_0161) せむる「 .....ねえ。お口にするのはダメや。お姉ちゃん、もひともひとお勉強したいなあ.....」

( hmr\_0162) せむる「 ふふひ、まだイチだら、だ、め。お口やペロペロさせてくれるまで、すりと止めしかやう.....」

じかぶうのを、射精管理して恤ひのかな.....」

( hmr\_0163) せむる「 .....お姉ちゃんに、おちんかんを管理されやうなんや、ぐぐな派分.....」

( hmr\_0164) せむる「 ああ、ほひ、またイチわやいわうになりかやつた..... 段々、我慢できる時間が短くなつてしまつたやつてゐる」

( hmr\_0165) せむる「 .....ううのや。お口やした方が、もひと気持ちいいかやつて、女の子に、おちんかんをお口やペタつてしまれるの、初めてなんだよね.....」

右耳・囁き（前ページからの続き）

( hmr\_0166 ) ほむる「 」ういうのって、未来のカノジョさんに失礼かな? 色んな『初めて』をお姉ちゃんが奪っちゃって…… そんな気持ちよさそうな顔を、自分以外の誰かに見せてたって知つたら……嫉妬されちゃうかも……」

( hmr\_0167 ) せむる「でも、何度でも訊くよ。……お姉ちゃんのお口で、おちんちん気持ちよくさせたらダメ? お姉ちゃんも初めてだから、最初は上手くできないかもしないはず……」

( hir\_0170 ) 丞むか「……どうか、あれでしょ? 本当はお口でしてほしいのにそれを言ひにくいうか……お姉ちゃんに向かつて『しゃぶれ』とか言えないもんね」

( hmr\_0171 ) せむる 「…………えいやあ、いいやあ。 もと、お口でしてわざわざ  
書いながら、お嬢ちゃんに、今こりでキスしてみて。  
そした、「——」

正面・近め（右耳から顔を動かしながら）

( hmr\_0172 ) せむる「なんんー? んぢゅう、わよひ、なんん……  
れろつ、ぢゅう、んじん……んぢゅう、ん、せあひ……  
んつん、んんんー? べぢゅう、ぢゅるるる……」  
( hmr\_0173 ) せむる「がおひ、んんひ、はあひ……ええひい、そんなに……  
お口ドしてほしかったの? やあひ、わよひと待つひ、  
んぢゅう、れろつ、ぢゅうう、はあひ……そんなにつ、  
がつつかなくてもひ……んぢゅ、れろひ、れろれろひ、  
れろおひ、ぢゅうかう、んぢゅうう……」

( 1hr\_0174 ) せむる「んっ、かゆい、ぶあ……はあっ、はあ……はあ……はあ……  
そんなに……激しいキスするなんて……聞いてない……  
めっちゃ……舌絡めてくるし……」

( hir\_0175 ) 「…………ド も…………お 口 ド し て い う ド ！」 と だ よ ね い。  
ふ ふ う …… あ り が と 、 ち ゃ ん ひ ～。  
お 姉 ち ゃ ん 、 がんばるか ひ …… 最 初 は 優 し く す る わ 「

## 左耳・近め（移動しながら）

( hmr\_0176) せむり「…………うしょ、緊張してきちゃつた。

ん……え? おひば? ？」

あ、「めんね。腕、痛かった?

押しつけてたのは、わたしじゃないよ……

そんな余裕、今のお姉ちゃんにはないもん……」

## 正面・近め（移動しながら）

( hmr\_0177) せむり「…………じゃあ、そのままベッドに座っていて。」

## 正面・しゃがみ込みながらのむく

( hmr\_0178) せむり「お姉ちゃんは床に座るね……ん……よじょい」と

あ……おちんちん、こんなに間近で見るの初めて……

元から、おつきいとは思つてたけど……

す」「こ……迫力……」

( hmr\_0179) せむり「…………わゆり、わゆり。おちんちんにキスするの……」  
もつと、音を大きくした方がエツチかな……

ん……わゆり、わゆり。ちゅつちゅつわゆり……」

( hmr\_0180) せむり「…………ふふり。まだ舐めてもないのに、  
おちんちんビクンビクンしてる……」

「めんね、いっぱい我慢させちゃつて……

お姉ちゃんの舌で気持ちよくなりていいくからね……」

( hmr\_0181) せむり「…………ちゅ、ぴちや……れろつ…………ん……はあ……」  
ん……ちゅ、ぴちや……れろつ…………ん……はあ……」  
ん……れろつ……ちゅう、ん……ねもとから……」  
こうやつれ……ぴちや……れろつ……ちゅう、わゆり、  
なめるの……ん、ぴちや、れろれろつ、んん、じおわ……」

( hmr\_0182) せむり「…………ん、ちゅ、れろつ……はあ、もつと…………声、か」かした  
ほうがいい…………ん、ぴちや……はあ、れろつ、ん、  
れろれろつ、れろれろれろつ、ぴかや、わゆり……」

## 正面・しゃがんだ状態で顔を上げながら

( hmr\_0183) ほむり「…………ん、はあ…………おちんちん、す」「こ…………見て?  
こんなに反り返つてる……ん、ぴちや……れろつ……」  
れろつ、れろつ……れろお……つ、ん、わゆり、はあ、  
なんか……男らしくて惚れ惚れしかやう……」

( hmr\_0184) せむり「ふふり、相変わらず顔とのギャップがす」「こナビね……」  
普通の女の子は、ぜつたい想像できなじい髪の……  
その顔で、こんなグロチンポ……」

正面・しゃがんだ状態でうつむく

( hmr\_0185) せむり「ん……」「」が……裏筋……むつ、れろれろり、れろえり、  
ぴちや、ちゅう……はあ、れろれろれろり、れろ、  
れろれろれろれろれろり……」

( hmr\_0186) せむり「ん……はあ、おちんちんの悦び方す」「」ね……  
もしかしてお姉ちゃん、初めてでも結構上手い?  
ゲームでこうじうシーンたくさん演じてきたから、  
知識だけはあるんだよね……」

### 顔を上げながら

( hmr\_0187) せむり「ちゅう、ん……」「」やつて……上田遣いで見つめながら、  
舌を動かすのは? んん、れろり、れろれろれろり、  
ちゅうう、ぴちや、れろり、れろれろれろり、れろり  
れろれろれろお……！」

※ S E : 射精

( hmr\_0188) せむり「ん、ふえ? ええつ、やつ出ちやつ……ん、はあつ……  
顔につ……かかつてつ……ふつあ、ああつ……ああ……  
す''い……勢い……んちゅう、はあ、れろり……ん……  
せーえき……なめてみる……ん、ちゅ、ぴちや……ん、  
ちゅう、ぴちや、れろりれろれろり、んつ、はあ……」

( hmr\_0189) せむり「……あれ? なんか……せーえき、甘いんだけど……  
ぴちや、ちゅう……れろり、んん……ぴちや、ぴちゅ、  
ちゅう、れろり……はあ……全然、苦くない……  
想像してたのと違つた……」

( hmr\_0190) せむり「……ん、汚くないよ?  
今まで、がんばつて我慢してくれてたんだもんね……  
おちんちん、よしよししてあげたい気分……  
でも困つたな……弟の「」とを、こんなに愛おしく  
思つわやうなんて……」

※ S E : 髪を撫でる

( hmr\_0191) せむり「んん、なあに? 急に頭を撫で始めて……  
といつといつ、お姉ちゃんにガチ恋しかやつた?」

### 正面・立ち上がりながら

( hmr\_0192) せむり「……んー、お礼を聞ひのは」「おのまつ……  
もお、またそつやつて早くイッかやつた」とを  
気にするが……」

## 正面・近め

( hmr\_0193) せむる「ん……わゆり……あ、キスはじこみ……  
おちんちゃん、舐めたあとだし……  
優しくしてくれるのは嬉しいけど……  
せ一えきの味がしかや……ん、わゆり、ふくら……  
ちゅつ、んん、はあつ……んんり、わゆり、わゆり……  
れろれれり、わゆり、わゆり……」

( hmr\_0194) せむる「……やせ、今のキス……蕩けやつになつた……  
女心よくわかつてゐるね……  
だつて、フニラチオしたあとにキスを嫌がられるの、  
傷つく子もいると思つし……」

( hmr\_0195) せむる「お姉ちゃんも……嬉しかつたもん……あ！」  
「……」  
( hmr\_0196) せむる「あ、待つて。まだ、おちんちゃんしまわないで……  
お掃除フニラつていうの……してあげる……  
だいじょーぶ、汚くないから……また座つて？」

## 正面・しゃがみ込みながらのむく

( hmr\_0197) せむる「ん……かめり、はあ……れり……ん、れり……ん、  
ぴかや、れり……ん、ふくら、今田は元氣だね……  
出しだばりかりなのに、ずっと硬いままだ……」

( hmr\_0198) せむる「ぴかや、ん……はあ、れり……ぴかや、わゆり……  
ほんと、せ一えき甘くて……ずつと舐めていられる……  
ちゅつ、はあ、おじやぶつもしてみよつかな……」

## 正面・しゃがんだ状態で顔を上げる

( hmr\_0199) せむる「ん、はあ……む、んわす、わせり……はあ……ん、わゆり、  
はあ、おひひ、んんり……わせり、ぴかや……わゆり、  
んぢゅ、わせり、はあ……わせり……」

( hmr\_0200) せむる「わせり、はあ……！」ねが……せぐらう……、  
ん、わせり、ねじ……んわす、わせり……そ、わせり、  
わせり、わせり、わせり……」

( hmr\_0201) せむる「んわす、わせり……せあ、じんじんおひ わくないでる……  
ん、わせりわせり……せあ、今田のおちんちゃん、  
ヒヂチヤギのむお……」

( hmr\_0202) せむる「ん、はあむ、んわすり、んせり……んせり……、  
わせり、わせり、わせり、わせり、わせり、わせり、わせり、  
んぢゅ、わせり、わせり、わせり、わせり、わせり、わせり、  
わせり、わせり、わせり……」

正面・しゃがんだ状態で顔を上げる（前ページからの続き）

※S.E.: 射精

〔 〕

わたくしのなかみでね  
なんり、のんれむくいきひよねえり、ん  
んつ、「」くへ「」くへ「」くへ「」くへ  
ごくく……」

( hm \_ 0210 ) せむる「ん……ん、はあ……ああ……あまい……せーべきひ  
こんなに美味しいんだ……ん、ちゅう、ちゅう～  
おちんちん、がんばってくれてありがと～」

正面・立ち上がりながら

( hmr\_0211 ) 世紀、今度は、お嬢ちゃんが頭をよしよしとあげるね。  
「へす、ここよ。おりませごに顔を預けておても……」

右耳・囁き（正面・近めから移動しながら）

( hnr\_0212) セむ、  
「…………よしよし。赤ちゃんみたいだね……  
おわんわん、饭持ちよかつた?」

正面・近め（右耳・囁き距離から移動しながら）

( hnr\_0213) セむ、  
「…………おわせやうな顔してゐね……  
わわい、わわいわわい、わわい」

( hnr\_0214) セむ、  
「お姉ちゃんも初めに「チカホしてみたけど……  
なんか……す」」幸せだった……  
上手く言へないんだけど……お口の中じおわんわんが  
大きくなつていくと、胸がいつ止まらないで……」

( hnr\_0215) セむ、  
「ゲームの中の女たちが、よくおわんわんをかわいいで  
叫んで、きりと」「うう気持ちなんだね……  
お姉ちゃん、ママのねやいやうお口の中」と、  
おわんわんを囁き込んでおくる……」

( hnr\_0216) セむ、  
「それ」「…………わわい、わわいわわい、わわいわわい、  
わわいわわい、ん、まあ……」「れ、だよね。  
おわんわんを、おしゃべつておしゃべ……」

( hnr\_0217) セむ、  
「わわ、ンバを駆けこむ顔はせぬわせなじゅる。  
……」「協力感謝、わわい~」

右耳・囁き（移動しながら）

( hnr\_0218) セむ、  
「ふ~ひ。モーモー……モーモー……」

※トライック4／